

氏名	岡 桃子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	子ども家庭福祉				
学位	修士（人間関係学）				
学歴	2002年3月立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ福祉学科卒業、2006年3月立教大学大学院修士課程コミュニティ福祉学研究科人間関係学専攻臨床心理学コース終了				
経歴	2006年度～立教大学コミュニティ福祉学部実習インストラクター、2008年度～立教大学コミュニティ福祉学部助手、2011年度～八王子市子ども家庭支援センター子ども家庭支援ワーカー及び専門相談員（社会福祉士）、2016年度～立教大学コミュニティ福祉学部助教、2020年度～埼玉県立大学准教授				
所属学会（役職）	埼玉県立大学保健医療福祉科学（SPU）学会、日本コミュニティ心理学会、日本子ども虐待防止学会、日本子ども家庭福祉学会、立教大学コミュニティ福祉学部学内学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績					
(1) 著作					
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名
1	該当なし				
(2) 論文					
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ
1	該当なし				
(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	緊急度が低い要支援家庭のソーシャルサポートネットワーク構築のあり方について—児童館の取り組み事例から	共同	日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会、オンライン	○岡桃子、大澤朋子	2021年12月
2	社会的養護の高機能化としての子育て支援—児童家庭支援センターの取り組みの分析から	共同	日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会、オンライン	○大澤朋子、岡桃子	2021年12月
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし				
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	子ども家庭福祉論	○	15	子どもや家庭が置かれている環境を知るとともに、子ども家庭福祉の基本的な枠組みへの理解を深め、福祉施策や活動の実態と課題について展開した。オンライン講義において、課題・アンケートやリフレクション（感想）を積極的に共有し、相互交流による学びの深まり・参加型を意識した（以下の科目も同様）	
2	社会的養護	○	15	社会的養護の原理、実施体系、ソーシャルワークについて学ぶことにより、「子どもの最善の利益」を追求する社会的養護についての学びを開拓した。	
3	社会的養護内容	○	15	子どもの権利に重点をおいた社会的養護内容について、各施設での事例を取り上げながら展開した。	
4	子ども若者支援論（大学院）	○	4	子どもの貧困対策、若者の社会的排除対策、その他、子育て家庭・一人親世帯に対する支援等について、6名の教員によるオムニバス形式で展開した。	

(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		15	実習目的の明確化、実習先施設の理解を含めた事前指導を行った。		
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		15	現場実習の振り返り、実習報告書の作成を含めた事後指導を行った。		
3	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	学生を少人数グループに分け、教員4名が専門分野の事例を活用しながらソーシャルワーク技法について学びを展開した。		
4	ソーシャルワーク演習Ⅳ		15	教員4名が十数名の学生たちを担当し、地域の調査及び支援プログラムづくりの実践をサポートした。		
5	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	○	15×2	学生の関心や問題意識に応じて、多様な演習形式（関連テーマについてのディスカッション、動画視聴、現場見学）による学習を行った。ゼミメンバーが互いに発言しやすい居場所作りを重視した。		
6	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	○	15×2	卒業研究に向けての学習課題を明らかにし、個別の取り組みを進めいくことに加えて、就職活動や国家試験対策など、最終学年の取り組みをゼミ形式で共有した。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ヒューマンケア体験実習		15	全体のプログラムに沿って、学生のグループ活動を促進させた。		
2	ソーシャルワーク実習Ⅰ		15	学生10名を担当し、巡回を通してスーパーバイズを実施した。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2021.4-2022.3	主指導 2名	副指導 2名		
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	国家試験における学習相談	2021.4-2022.3	国家試験受験者に対する助言と講義を実施			
2	立教大学コミュニティ福祉学部 非常勤講師	2020.4-2022.3	「社会福祉現場実習」「実習指導」を担当			
3	駿河台大学心理学部および心理学研究科大 学院 非常勤講師	2020.4-現在	「福祉心理学」「福祉心理学特論」を担当			
4	日本福祉大学福祉経営学部 非常勤	2020.4-現在	「相談援助演習Ⅰ」を担当			
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月		
1	ちば子ども若者アフターケアネットワーク 事業キックオフシンポジウム	ちば子ども若者 アフターケア ネットワーク	子どもが大人になっても応援し続ける社会へ～みんなでアフターケアをはじめよう～ 基調講演『社会的養育経験者全国調査から考えること』	2021年9月		
2	第8期 家庭訪問ボランティア養成講座	ホームスタート かわごえ	「家庭とは何か、親とは何か」「子どもの理解」	2021年10月		
3	第3回 IFCAリーダーシップ・シンポジウム	NPO法人IFCA	新型コロナcovid-19の与えた影響 IFCA第二弾調査報告 「メンタルヘルス」「孤立・孤独感」に焦点をあてて	2022年2月		
3	埼玉ホームスタート推進協議会10周年記念セミナー	埼玉ホームス タート推進協議 会	あなたはなぜボランティアを続けていますか？子育て家庭に寄り添うボランティア活動のひろがり 調査報告「ホームスタートのボランティア（ホームビジター）122人のアンケートから」	2022年2月		
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等						
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期		
1	ホームスタートかわごえ		運営委員	2021年度～現在		
2	立教大学コミュニティ福祉学部学内学会		運営委員	2020年度～現在		
(3) ジャーナリズムでの発言						
	メディア等の名称		内容	年月		
1	該当なし					

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	NPO法人湘南遊映坐	理事、事務局長、復興支援事業担当（熊本県南阿蘇村応急仮設住宅、立野学童保育所等）	2013.10-現在
2	地域貢献活動	NPO法人IFCA	SA担当（社会的養護経験者サポートアダルト）／プロジェクトCチーム（新型コロナ感染拡大が、社会的養護の当事者たちの生活においてどのような影響が出たかWEB調査実施）	2019.2-現在
3	地域貢献活動	立教大学コミュニティ福祉学部	フィールドスタディ「子育て体験フィールドワーク」学生受入れ	2021.4-2021.12
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員		2020.10～2022.3
2	学生支援	学年担当（1年生）		2021.4～2022.3
3	学科等における委員会等	国家試験支援担当		2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			